

## 今月の PICK UP



### 『Professionals フィギュアスケートを支える人々』 扶桑社 784.6 プ

シーズンを迎えたフィギュアスケート。本著はその舞台を支える様々な職種18人のインタビューで構成されています。スケートリンクを管理運営する会社、衣装制作をするデザイナー、選手の身体をサポートするフィジカルトレーナー、ジャンプを瞬時に計測してテレビ中継で見せる「アイスコープ」の技術者等、幅広い仕事を紹介されています。

いずれの人にも共通しているのは、フィギュアスケーターにリスペクトと愛情をもって最新最良の技術を惜しみなく提供していること。またスケーターについて語るエピソードはどれも温かく、じんわりとその優しさが伝わってきます。

### 『くよくよマネジメント』 津村 記久子/著 清流出版 914.6 ツ



“最近、なんとなくもよもよするなあ”という方に、この1冊はどうでしょうか？

マネジメントと言っても堅苦しい内容でなく、著者自身が自分を“くよくよ族”と名付け、くよくよする気持ちとどう付き合っていくか、ということ綴ったエッセイです。「明日の自分を接待する」「おなじみの問題に安住しない」など、目次を眺めるだけでも、心がふと軽くなるヒントが見つかるかもしれませんね。



## 司書の おすすめ

### 『すばらしき日本語』 清水 由美/著 ポプラ社 810.4 シ

30年以上にわたって留学生に日本語を教えてきた著者による、日本語の面白さや奥深さを教えてくれる本です。新書ではありますが、ユーモアたっぷりの文章で気負いなく読むことができます。普段何気なく使っている言葉や五十音図など、改めて向き合ってみると新鮮な驚きがあり、膝を打つ思いです。



### 『恐竜まみれ 発掘現場は今日も命がけ』 小林 快次/著 新潮社 457.8 コ

著者は恐竜の研究者であり、ラジオの「子ども科学電話相談室」では人気の先生です。「恐竜研究は人のためになっているのか」と自問しつつ、自分がサイエンスの面白さを伝える重要な役割を担っていると信じて、世界中の発掘現場を飛び回っています。

2019年に新種として発表された恐竜「むかわ竜」についての裏話や、アラスカ、モンゴルでの自然と折り合いをつけながらの発掘エピソード等、読む人をワクワクさせる研究録でもあります。



### 『世界でいちばん美しい夜空と星たちの物語』

#### MdN編集部/編 エムディエヌコーポレーション 748 エ

最近、夜空の星を眺めることはありますか？ 忙しい毎日の中で、そんな時間を持つのは難しい人も多いでしょう。そんな方には、この本をお勧めします。

この本には世界中の美しい夜空があって、ページを開いた途端、その場所に立って夜空を眺めているような、星空に吸い込まれていくような感覚になります。そして、それぞれの夜空にぴったりの昔話や神話が簡潔な文章で書かれていて、まるでナレーションを聞いているようです。

秋の夜長の癒しの時間をどうぞ。

